

山賀遺跡の最新調査成果

会期 : 平成20年3月15日(土)～平成20年3月30日(日)

会場 : 大阪府立弥生文化博物館 特別展示室

財団法人大阪府文化財センターの小テーマ展示は、当センターが実施した発掘や調査の成果に基づいて、多くの方々に文化財を身近に感じていただき、さらに文化財の調査や保存などへの理解を得ることを目的としています。

今回は、山賀遺跡を取り上げます。山賀遺跡は、大阪府東大阪市から八尾市にかけてひろがる大規模な遺跡です。1971年の発見以来、数多くの調査がおこなわれ、縄文時代後期から中世・近世までの、各時代の遺構や遺物が多くみつかっています。

本展示では、当センターが2004年～2005年に実施した最新の調査を中心に、遺跡が最も栄えた弥生時代前期から中期初頭に焦点を絞った展示をおこないます。これまでに例をみない「垂飾」形木製品(たれかざりがたもくせいひん)をはじめとする土器・石器・動物の骨などをとおして、最新情報を紹介します。



上空から見た山賀遺跡

(写真下方円形の内側が今回の調査対象箇所、写真上が北を指す)

主催 財団法人大阪府文化財センター・大阪府立弥生文化博物館

共催 大阪府八尾土木事務所

入館料 一般400円 65歳以上・高大生300円

※中学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその介助者1名は無料 ※20名様以上の団体は2割引

開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日(休日の場合は開館し、翌火曜日が休館)

アクセス JR 阪和線「信太山(しのだやま)」駅下車 西へ約600m
南海本線「松ノ浜」駅下車 東へ約1,500m
国道26号線「池上町」交差点 南西角

「垂飾」形木製品とその関連資料
 弥生時代前期～中期初頭の土器
 弥生時代前期～中期初頭の動物骨
 弥生時代前期～中期初頭の石器
 弥生時代前期の赤彩土器
 弥生時代前期の黒色物質付着土器
 弥生時代前期～中期初頭の他地域の土器

大阪府治水事業の紹介

特 別 講 演 会

2008年3月22日(土)

「山賀遺跡 今世紀の発掘調査」 本間元樹 (財団法人大阪府文化財センター副主査)

「垂飾形木製品の複製品製作」 森田拓馬 (複製品製作技術者)

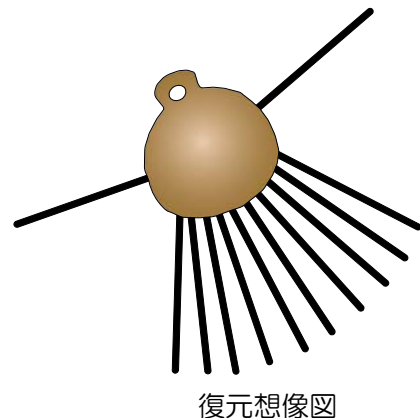
「山賀遺跡が問いかけるもの」 水野正好 (財団法人大阪府文化財センター理事長)

時 間：午後2時～4時

場 所：大阪府立弥生文化博物館 1階ホール

聴講料：無料(要入館料)

定 員：170名(受付は午後1時30分から/午前11時から整理券を配布します)



「垂飾」形木製品：弥生時代前期

※ 本事業は、平成19年度文化庁埋蔵文化財保存活用整備事業国庫補助金によるものです。

※ 本事業は、「関西元気文化圏」に参加しています。